

事務事業名	男女共同参画社会づくり推進事業				担当	教育委員会 生涯学習課 女性青少年係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名	11-2 女性が社会に参加しやすい環境づくり		
施策名	8	男女共同参画社会の実現			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市男女共同参画社会づくり計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市男女共同参画推進条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成12年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	4. 社会教育総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	平成11年度に成立した男女共同参画社会基本法に基づき、真岡市は平成12年度に男女共同参画社会づくり市民会議を設置し、平成13年度に「真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定した。 ・推進体制：男女共同参画社会づくり市民会議（年2回開催し、計画の推進を図る）、男女共同参画社会づくり計画推進会議（計画推進のための庁内連絡調整を図る）のほか、男女共同参画審議会（市民会議で策定した計画や市長の諮問に応じて審議する） 平成22年度は市民会議を4回開催し、真岡市男女共同参画推進条例を制定。条例の制定に伴い、市民会議は附属機関からはずれ、審議会が附属機関となった。 平成24年3月「第2次真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定した。 平成29年3月「第3次真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定した。 平成29年3月 男女共同参画社会づくり市民会議が廃止となった。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 ・第3次真岡市男女共同参画社会づくり計画の推進 ・真岡市男女共同参画審議会(2回) ・推進会議(0回)、3次計画の各課30年度の振り返りヒアリングを実施 ・講演会開催(1回)・座談会実施(16回) ・男女共同参画セミナー開催(0回)新型コロナウイルス感染防止のため開催中止 ・男性の家事促進料理教室(1回) ・女性団体活動支援・女性リーダーの育成 ・男女共同参画情報紙us(全戸配布)の発行 ・事業者表彰 2年度計画 ・第3次真岡市男女共同参画社会づくり計画に基づき、関係各課、機関等と連携し、効果的な推進を図る。 ・現計画が令和3年度で期間が満了となる。第4次真岡市男女共同参画社会づくり計画策定の基礎資料とするため、現計画の評価やアンケート調査を実施する【令和3年度に実施調査・評価を基に、計画を策定する予定】 定対象年齢3歳以上の真岡市住民(特例)の*人や自然資源等 市民	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	会議開催数	回	11	3	2	2	3
	イ	座談会開催数	回	10	12	16	16	16
	ウ	講演会開催数	回	1	1	1	1	1
エ	男女共同参画セミナー	回	1	1	1	0	1	
オ	表彰事業者数	件	2	2	2	2	2	
⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	真岡市民	人	79,422	80,754	81,516	81,393	81,371	
イ								
ウ								
エ								
オ								

③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 男女共同参画社会づくり計画の実践と推進を図り、男女共同参画社会の実現を促進する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	座談会参加人数	人	518	418	528	583	600
	イ	講演会参加人数	人	490	545	672	380	600
	ウ	市の附属機関の女性審議委員の割合	%	32.7	33.4	31.9	33.9	34.0
エ								
オ								

④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 男女共同参画社会の実現を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	男女が平等になっていると感じている者の割合	%	21.9	19.2	18.1	19.9	19.9
	イ	(市民意向調査)						
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,774	1,011	1,098	990	4,504	
	事業費計(A)	千円	5,774	1,011	1,098	990	4,504	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	900	360	360	360	360
		人件費計(B)	千円	3,738	1,494	1,501	1,455	1,455
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,512	2,505	2,599	2,445	5,959	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	男女共同参画社会基本法に基づき、平成12年度に真岡市男女共同参画社会づくり市民会議を設置。平成14年3月に「真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成19年4月に「真岡市男女共同参画社会づくり計画 後期実施計画（平成19年度～23年度）」が、また市町合併に伴い平成21年10月に後期実施計画の改定版が策定した。 平成24年3月に「第2次真岡市男女共同参画社会づくり計画（平成24年度～28年度）」を策定した。 平成29年3月に「第3次真岡市男女共同参画社会づくり計画（平成29年度～33年度）」を策定した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 男女共同参画社会づくりの推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 男女共同参画社会づくり計画に基づき、男女共同参画社会の実現を推進することは、適切である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民全員を対象にしている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市民意向調査の結果をみると、指標としている目標値にまだ達していないものがある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 本市の男女共同参画社会づくりの推進が図れない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 男女共同参画社会づくり計画に基づいた事業は他にはない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 計画の遂行のため、必要最小限の事業費である
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 計画の遂行のため、必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							